

平成29年第8回大分市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年8月30日(水) 午後3時45分から午後4時55分
- 2 場所 大分市役所議会棟3階 第5委員会室
- 3 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 古城 一
二番委員 生野 誉士
三番委員 大久保 真理子
四番委員 上杉 美穂子
五番委員 古城 和敬
- 4 出席事務局職員
教育部長 増田 真由美 教育部教育監 佐藤 雅昭
教育部次長 河野 和広 次長兼学校教育課長 御手洗 功
次長兼学校施設課長 池辺 誠 教育総務課長 清水 昭男
体育保健課長 西川 幸宏 社会教育課長 安藤 裕二
文化財課長 沖田 光宏 美術振興課長 長田 弘通
教育センター参事 御手洗 宏昭 教育総務課参事 岡本 隆憲
- 5 書記
教育総務課参事 水田 美幸 教育総務課主査 谷矢 啓良
教育総務課指導主事 三嶋 みどり
- 6 傍聴人 なし
- 7 議題
 - (1) 議案審議
(教議第46号) 平成29年度9月補正予算について
(教議第47号) 平成28年度決算について
(教議第48号) 大分市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
(教議第49号) 大分市情報学習センター条例施行規則の一部改正について
 - (2) 報告事項
 - ①大分市教育ビジョン2017推進事業「大分市の教育を考えるシンポジウム～つなぎ・つながる教育を目指して～」の開催について
 - ②大分市立竹中中学校における小規模特認校の試行的実施の延長について
 - ③新電力の導入について
 - ④「第1回FUNAIジュニア検定」の結果について
 - ⑤大分市海部古墳資料館の指定管理予定者の選定について

⑥旧荷揚町小学校校舎&黒板アート見学会について

⑦大在東部地区への学校施設の早期建設を求める要望書について

⑧平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

8 会議の概要

教育長 ただいまより、平成29年第8回大分市教育委員会を開会いたします。
(午後3時45分 開会)

教育長 会議に先立ち署名委員を2番委員、3番委員にお願いします。
それでは、ただいまより議案審議に入ります。

教議第46号「平成29年度9月補正予算について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

教育総務課長 教議第46号「平成29年度9月補正予算について」ご説明申し上げます。

本年度の教育費の補正前の額は、141億5,220万7千円でございますが、今回の補正額は、2,900万円の増で、補正後の額は、141億8,120万7千円でございます。

このうち、子どもすこやか部所管に係る幼稚園費及び市民部所管に係る公民館費を除く教育委員会所管分の補正額につきましては、右側の表のとおり、補正後の額は、124億5,142万8千円でございます。

それでは補正予算の概要についてご説明いたします。はじめに、10款2項 小学校費 2目 教育振興費のうち、就学援助事業につきまして、今年度から中学校1年生を対象にした新入学学用品費の入学前支給を行うこととしたところでございますが、小学校入学時の児童についても同様に入学前の3月に支給するための経費を計上するものでございます。

次に、債務負担行為の設定についてでございます。

「野津原地区3小学校統合に伴う通学支援事業」につきまして、平成30年4月の野津原地区3小学校の統合に伴い、遠距離通学となる児童に対して通学支援を行うため、本年度中に契約締結を行う必要があることから、平成29年度から35年度までの間、6,000万円の債務負担行為を設定するものでございます。

次に、債務負担行為の変更についてでございます。

「新大友氏遺跡体験学習館借上料」につきまして、大友氏館跡内に平成30年8月から新大友氏遺跡体験学習館を設置するため、本年度

中に契約締結を行う必要があることから、平成29年度から平成35年度までの間、6,500万円の債務負担行為を設定しているところでございますが、国民文化祭の開催に合わせ、日本文化体験ゾーンやバリアフリーに対応したトイレの充実など、施設機能のさらなる拡充を図る必要が生じたことから、9,360万円に債務負担行為の限度額を変更するものでございます。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただき、ご決定の上は、第3回市議会定例会にて、審議・決定をいただこうとするものでございます。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

ご質問などありませんか。

(なしとの声)

それでは採決いたします。教議第46号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

それでは次に、教議第47号「平成28年度決算について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

教育総務課長

教議第47号「平成28年度決算について」ご説明申し上げます。

平成28年度の教育費のうち、教育委員会所管分の最終予算額は、27年度から28年度への繰越し分を含めまして、一番上の段の左側になりますが、193億1,860万4,000円でございます。これに対しまして、決算額はその右側の「支出済額計」と表示しております181億8,533万1,733円でございます。また、その右側になりますが、翌年度繰越し額は、5億7,406万5,000円でございます。

それでは、項目ごとに、ご説明いたします。決算につきましては、説明項目が多く時間が掛かりますことから、まず第1項の教育総務費から第4項の幼稚園費までをご説明し、ご質問等があればお受けいたします。質疑応答が終わりましたら、残りの第5項の社会教育費から第6項の保健体育費までのご説明を行い、全体を通してのご質問をお受けいたしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

第1項の教育総務費から、順に主なものにつきまして、ご説明申し上げます。

始めに、1目の委員会費でございます。予算額は、912万9千円で、

決算額は、840万4,993円となっております。この主な内容は、平成28年度から1名増員し、計5名となった教育委員さんの報酬及び事務費でございます。28年度中の教育委員会の開催状況は右側の表のとおり、定期・臨時併せ16回の教育委員会を開催し、95件の議案について審議をいただいたところでございます。

2目：事務局費でございますが、予算額は、17億2,162万円で、決算額は、16億4,219万9,763円となっております。主な内容は、事務局職員の人件費、奨学助成事業等に要する経費でございます。

「教科指導マイスター派遣事業」につきましては、平成28年度新規事業でございますが、退職教員を教科指導員として中学校に派遣し、数学科・理科・英語科における教員の授業力の向上により、生徒の学力の定着・向上を図ったところでございます。

「未来自分創造資金」につきましては、高校進学を目指す市内の中学3年生を対象に、高校入学支度金10万円を支給するとともに、進級時及び卒業時に各5万円を一時金として支給するもので、28年度は、中学3年生20名に高校入学支度金として10万円を支給し、高校1年生10名に一時金として5万円を支給し、高校2年生4名に一時金として5万円を支給したところでございます。

3目：教育指導費でございます。予算額は、4億3,346万6千円で、決算額は3億9,790万9,729円となっております。主な内容は、小中学校における教育環境の充実や児童生徒の学力向上のための事業、生徒指導関係事業、人権等啓発活動に係る経費でございます。

中段にございます「特別支援等教育活動サポート事業」につきましては、27年度と比較しまして9名増員した配置を行い、きめ細かな教育に取り組んだところでございます。

「大分っ子学習力向上推進事業」につきましては、非常勤講師を配置し、個別指導や習熟度別指導を実施するとともに、複式学級のある小学校において、学年別や課題別の指導を行うなど対応を行ってきたところでございます。「学校図書館活性化事業」につきましては、50名の学校図書館支援員を配置し、読書活動の推進に取り組んだところでございます。

「いじめ・不登校等未然防止対策事業」につきましては、hyper-QU検査を小学校18校、中学校10校において実施し、児童生徒の状況や学級の課題を客観的に把握し、いじめや不登校等の未然防止を図ったところでございます。次に、「大分市小中一貫教育推進事業」につ

きましては、賀来小中学校を施設併設型小中一貫教育校とし、小中一貫教育モデル校区として10中学校区を指定し、引き続き取り組んでいるところでございます。

4目：教育センター費でございますが、予算額は、5億5,141万1千円で、決算額は5億3,699万3,572円となっております。主な内容は、教育センターの維持管理経費、教職員研修、情報教育環境整備、教育相談・特別支援教育事業に要する経費でございます。

「教育相談・特別支援教育推進事業」について、中段でございます。「スクールソーシャルワーカー活用事業」についてですが、スクールソーシャルワーカーを10名増員し、計15名体制のもと、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけを行い、その改善に向けた支援を行うとともに、学校への助言を通して、不登校の解消と未然防止に向けた取組を行ったところでございます。28年度は、問題対応件数3,273件のうち、好転件数は1,784件、好転率は54.5%となっております。

「教職員サポート事業」でございますが、教育に関する様々な情報を発信するとともに、教職員の授業力や実践的指導力の向上を図るため、本市の優れた教職員の実践の動画や、指導技術の向上に資する授業のワンポイント指導を編集した動画等を公開するポータルサイトの充実を図ったところでございます。

「新校務用ネットワークシステム整備事業」でございますが、平成22年度に導入したシステムの更新にあたり、データの一元管理や校務支援システムの導入による校務の効率化等を推進するもので、平成29年4月からの運用に向けて、年度内に契約締結する必要があるため、債務負担を設定したところでございます。

次に、5目：教育施設整備費でございますが、予算額は、1,821万6千円で、決算額は1,353万3,550円となっております。これは、小中学校空調設備整備事業に要する経費でございますが、小中学校の普通教室等に空調機を整備する方法として、設置後の維持管理を含めた一体的な契約となるPFI手法の導入可能性調査や、設計施工期間の短縮のための図面データ化を行ったところでございます。

第2項：小学校費、1目：学校管理費でございます。予算額は、23億1,927万9千円で、決算額は22億2,284万1,682円となっております。主なものは、職員の人件費並びに小学校の管理・運営費及び営繕等の施設整備に要する経費でございます。営繕費につきましては、小学校全体で3億4,020万2千円となっております。

27年度繰越明許の28年度実施額につきましては、平成28年度当初予算に計上する予定でありました春日町小学校トイレ改修工事につきまして、国の補正予算に対応するための措置として、平成27年度3月補正に予算を前倒しして計上したものを、平成28年度へと繰越したものでございます。また、下段にございます28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、国の補正予算に対応するため、豊府小学校のトイレ改修事業に要する経費について、平成28年度3月補正に予算を前倒しして計上したものを、平成29年度へと繰越したものでございます。

2目：教育振興費でございますが、予算額は、3億4,123万円で、決算額は3億3,594万8,576円となっております。その主なものは、日本スポーツ振興センター負担金と、要保護及び準要保護児童援助費でございます。

3目：学校建設費でございます。予算額は、34億5,707万1千円で、決算額は32億3,897万6,675円となっております。学校建設事業の内訳としましては、碩田中学校区新設校施設整備事業では校舎等建設工事等、大在小学校施設整備事業ではグラウンド整備工事等、こうぎき小学校プール改築事業ではプール改築工事等が主な支出内容となっております。

次に、27年度繰越明許の28年度実施額につきましては、平成28年度当初予算に計上する予定でありました碩田中学校区新設校施設整備事業及び大在小学校施設整備事業につきまして、国の補正予算に対応するための措置として、平成27年度3月補正に予算を前倒しして計上したものを、平成28年度へと繰越したものでございます。

また、28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、碩田中学校区新設校施設整備事業のうち、小グラウンド整備工事及び太陽光発電設備工事に係る経費について、国庫補助内示に伴い、予算を前倒しして計上したものを平成29年度へと繰越したものでございます。

第3項：中学校費、1目：学校管理費でございます。予算額は、12億7,796万4千円で、決算額は11億8,631万3,803円となっております。その主なものは職員の人件費並びに、中学校の管理・運営費及び営繕等の施設整備に要する経費でございます。営繕費につきましては、中ほどに掲載しておりますが、中学校全体で2億5,645万9千円となっております。

27年度繰越明許の28年度への繰越額につきましては、国の補正予

算に伴う対応として、植田西中学校のトイレ改修工事及びエレベーター設置工事に要する経費について予算を前倒しして計上したものを平成28年度へと繰越したものでございます。

28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、国の補正予算に伴う対応として、王子中学校のトイレ改修工事及び戸次中学校の公共下水道整備に要する経費について予算を前倒しして計上したものを平成29年度へと繰越したものでございます。

2目：教育振興費でございますが、予算額は、3億1,091万6千円で、決算額は、3億706万3,577円となっております。その主なものは、小学校費と同様に、日本スポーツ振興センター負担金と、要保護及び準要保護生徒援助費でございます。

3目：学校建設費でございますが、予算額は、22億7,470万円で、決算額は、22億6,040万7,089円となっております。学校建設事業の内訳としましては、碩田中学校区新設校施設整備事業の校舎等新築工事及び仮設教室借上料等、大在中学校施設整備事業のグラウンド整備工事等が主な支出内容となっております。

次に、28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、平成29年度当初予算に計上する予定でありました碩田中学校区新設校施設整備事業のうち、太陽光発電設備工事に要する経費について、国庫補助内示に伴い、予算を前倒しして計上したものを平成29年度へと繰越したものでございます。

第4項：幼稚園費につきましては、教育総務課計上の人件費及び体育保健課計上の幼稚園保健事業を除き、子どもすこやか部の所管でございます。

以上で第1項 教育総務費から第4項 幼稚園費までの説明を終わります。

ここで、一度説明を中断し、ご質問等があればお答えいたします。

ご質問等はございませんか。

(なしとの声)

質問がないようですので、引き続き事務局の説明をお願いします。

それでは、引き続き第5項より、説明させていただきます。

第5項：社会教育費、1目：社会教育総務費でございますが、予算額は、1億7,376万4千円で、決算額は1億6,490万1,898円となっております。

主な経費としましては、職員等の人件費、並びに陶芸楽習館管理運

教育長
全委員
教育長
教育総務課長

営事業、成人記念集会事業などがございます。

新規事業の「おおいたナイトスクール事業」につきましては、さまざまな理由で中学校で十分学べなかった人、生涯学習として中学校程度の学習内容を学び直したい人などを対象に、学習の機会を提供するものですが、平成28年度は、植田公民館と鶴崎公民館の2会場で、国語、英語、ふるさと知ろう科の3教科を実施したところでございます。

「OITA子ども+3推進事業」につきましては、日岡小学校区において、放課後の児童を対象とした居場所づくりを行うモデル事業を実施したところでございますが、得られた成果と課題について、放課後や週末等に様々な体験活動等の機会を提供する「おおいたふれあい学びの広場推進事業」に活用いたします。

2目：文化財保護費でございますが、予算額は、21億7,415万5千円で、決算額は19億1,340万8,442円となっております。その主なものは、職員の人件費、史跡等管理費、大友氏遺跡保存整備事業及び埋蔵文化財発掘調査受託事業などにかかる経費でございます。

「県指定史跡『府内城宗門櫓』復元公開活用事業」につきましては、府内城宗門櫓は、構造材の腐食等毀損が激しく、大規模修理の必要性が生じているため、半解体修理を実施し、修復過程の公開や修復後の一般公開を通じて活用を図るものですが、平成28年度は、埋蔵文化財確認調査及び半解体修理に係る実施設計等を行ったところでございます。

「市指定有形文化財『帆足本家酒造蔵』耐震対策事業」につきましては、地震の影響により内部見学等を一部制限している帆足本家酒造蔵において、地盤強度を測る地質調査を実施し、耐震基礎診断に着手したところでございます。

「公有財産購入費」をご覧ください。大友氏遺跡事業用地購入費は、9億3,668万7千円となっております。

また、その下の大友氏遺跡事業に伴う移転補償は、29件で4億8,112万6千円となっております。

「大友氏遺跡歴史公園整備事業」につきましては、史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）に基づき、大友氏遺跡を歴史公園として整備し、公開・活用するものですが、平成28年度は、大友氏館跡庭園整備を行うための基本設計を実施したところでございます。

「おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト」でございますが、キリシタン・南蛮文化遺産を広くPRするために、協議会を構成する7市町によるスタンプラリーの実施や、日本遺産の申請を行ったところでございます。

次に、28年度繰越明許の28年度への繰越額につきましては、大友氏遺跡保存整備事業にかかる建物移転補償費において、移転及び建物解体に不測の日数を要し、年度内の移転完了が困難になったため、繰り越したものでございます。また、キリシタン・南蛮文化遺産活用推進事業につきましては、国の補正予算に対応するため、予算を前倒しして計上したものを平成28年度へと繰り越したものでございます。

次に、28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、文化財保護一般事業のうち、大分県及び大分市の補助対象である県指定有形文化財について、保存修理の内容確認に不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、29年度に繰り越したものでございます。

併せて、帆足本家酒造蔵の耐震基礎診断及び耐震補強計画作成業務委託に係る経費について、工期が次年度に及ぶため、29年度に繰り越したものでございます。また、大友氏遺跡保存整備事業につきましては、建物等の移転に不測の日数を要し、年度内の移転完了が困難となったため、29年度に繰り越したものでございます。

3目：エスペランサ・コレジオ費でございますが、予算額は、4,244万4千円、決算額は4,043万6,317円となっております。内訳としましては、職員等の人件費及び各種教室実施にかかる経費のほか、茶室屋根外改修工事に要する経費が主なものでございます。

5目：青少年費でございますが、予算額は970万4千円で、決算額は811万1,642円となっております。主なものは、補導員活動報償費をはじめとする青少年の健全育成にかかる経費でございます。

6目：少年自然の家費でございますが、予算額は、2億27万1千円で、決算額は1億9,085万3,451円となっております。主なものは、職員等の人件費及び管理運営費等にかかる経費でございますが、中段の工事請負費につきましては、法面对策工事等を実施したところでございます。

7目：情報学習センター費でございますが、予算額は、4,023万2千円で、決算額は4,016万771円となっております。主なものは、指定管理業務委託料でございます。

8目：歴史資料館費でございますが、予算額は、1億1,693万4

千円で、決算額は1億1,283万7,403円となっております。職員等の人件費及び施設の維持管理並びに特別展・テーマ展や各種講座にかかる経費が主なものでございます。

9目：市民図書館費でございます。予算額は、3億1,704万8千円で、決算額は3億1,409万2,828円となっております。職員の人件費及び窓口業務委託料、施設の管理運営費、図書等の購入費並びに各種事業実施に伴う経費が主なものとなっております。

10目：美術館費でございますが、予算額4億7,268万9千円で、決算額は3億8,408万2,256円となっております。職員の人件費及び施設の維持管理、美術品の購入費並びに各種事業実施に伴う経費が主なものとなっております。28年度の観覧者数につきましては、利用状況の表のとおりでございますが、特別展の「片岡鶴太郎展」や「チームラボアイランド」「ミュシャ展」など、多くの方にご観覧いただいたところでございます。

「まちなかアートフルロード推進事業」につきましては、まちなかにアートによる賑わいを創出するため、県立美術館との共通優待券の発行や、まちなかアートイベントを巡るツアーを行ったほか、市民参加型の「まちなかアート遊園地」や、LEDで光る風船を夜空に浮かべるインスタレーション等のアートイベントを開催したところでございます。

次に、28年度繰越明許の29年度への繰越額につきましては、美術館空調設備更新事業において、空調機器の特殊性から、工期を延長する必要が生じ、年度内の事業完了が困難となったため、29年度に繰り越したものでございます。

11目：アートプラザ費でございますが、予算額は、8,084万2千円で、決算額は7,800万277円となっております。主なものは、指定管理業務委託料でございます。

12目：海星館費でございますが、予算額は、2,715万3千円で、決算額は2,715万2,404円となっております。主なものは、指定管理業務委託料でございます。

13目：いまいち山荘費でございますが、予算額は、986万7千円で、決算額は771万2,638円となっております。施設の管理委託と維持経費が主なものでございます。なお、平成28年度末で、いまいち山荘は閉所したところでございます。

次に、第6項：保健体育費、1目：保健体育総務費でございますが、予算額は、1億9,483万4千円で、決算額は1億9,105万3,

147円となっております。職員等の人件費及び事務費が主なものでございます。

2目：体育振興費でございますが、予算額は、1億2,187万5千円で、決算額は9,793万4,821円となっております。体育指導及び体育振興にかかる経費のほか、学校体育振興事業として各種大会派遣の補助が主なものでございます。

「運動部活動総合活性化事業」につきましては、運動部活動外部指導者人材バンクの設置や、外部指導者に対する研修の実施及びトップアスリートによる実技講習等を開催したところでございます。

「大分っ子体力アップわくわく事業」につきましては、専門的知識を持った人材の活用により、陸上・器械運動サポート教室として小学校25校、体づくり運動サポート教室として、小学校13校、中学校8校において、体育の授業の充実を図ったところでございます。

3目：学校保健費でございますが、予算額は、7,614万8千円で、決算額は6,984万713円となっております。児童生徒に対する健康診断に要する経費が主なものでございます。

8目：学校給食共同調理場費でございますが、予算額は、5億9,947万7千円で、決算額は5億6,294万4,625円となっております。主なものは、東部共同調理場及び西部共同調理場の給食調理業務等の委託料でございます。

9目：学校給食費でございます。予算額は1億2,078万4千円で、決算額は1億1,530万1,482円となっております。主なものは、給食調理場の管理運営にかかる経費でございます。

以上で5項の社会教育費及び6項の保健体育費の説明を終わります。

ただ今、ご説明いたしました決算内容につきまして、本委員会でご決定をいただき、ご決定の上は、来月開会予定の第3回市議会定例会にて、審議・決定をいただこうとするものでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

委員

教育センターのポータルサイトの動画は見るのでしょうか。

教育センター参事

IDとパスワードをお渡しすると見るができます。

教育長

授業の達人であるベテラン教員の授業の動画をどの学校の教員も見ることができるようになっております。

委員

アクセス数も確認することができますか。

教育センター参事

確認することができるようになっております。現在、1人の教員が年

間3回見ることを指標としております。

教育長
全委員
教育長

他にご質問はございませんか。

(なしとの声)

それでは採決いたします。教議第47号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。教育長
それでは次に、教議第48号「大分市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について」を議題といたします。

事務局、説明をお願いします。

次長兼
学校教育課長

教議第48号「大分市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について」ご説明申し上げます。

国におきまして、子どもをめぐる教育課題が複雑化・困難化する中、地域住民との連携・協働を含めた学校運営の改善を図ることにより、学校の機能強化を一体的に推進するため、学校運営協議会いわゆる「コミュニティ・スクール」の設置の努力義務化等の措置を講じた「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が本年4月1日から施行されました。

本件は、国の法改正に伴い、「大分市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」について、所要の改正を行おうとするものでございます。

主な変更点といたしましては、「協議会を設置する学校を指定することができる」現行の規定から、「地域の実情に応じて設置するものとする」規定への改正や、「2つ以上の学校の運営に関し相互に密接な連携を図る必要があると認める場合は、1つの協議会を設置することができる」規定の追加でございます。

また、協議会が意見を述べることができる職員の採用等に関する事項について、「学校運営の基本方針の実現に資する事項及び教育上の課題に関する事項に限り、任命権者に対して意見を述べることができる」規定への改正でございます。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

ご質問などございませんか。

(なしとの声)

それでは採決いたします。教議第48号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。教育長
それでは次に、教議第49号「大分市情報学習センター条例施行規則の一部改正について」を議題といたします。
事務局、説明をお願いします。

社会教育課長

教議第49号「大分市情報学習センター条例施行規則の一部改正について」ご説明申し上げます。

本案は、大分市情報学習センター条例施行規則に規定する設備等の使用料について、設備等の新規設置及び廃止など、所要の改正をしようとするものでございます。

改正点としましては、同センターのスタジオにおいて、ビデオ等の映像や音響などの編集を行うことができるよう、新たにDVD/VHSレコーダー及びモニターテレビを設置するとともに、利用頻度が少なく老朽化しているコンデンサーマイクロホン、カメラ、ドラムセット及びギター用アンプを廃止し、利用者の利便性を向上しようとするものでございます。

なお、本規則の施行期日は、平成29年9月1日付けとなっております。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

ご質問などございませんか。

(なしとの声)

それでは採決いたします。教議第49号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

それでは次に、報告事項の説明をお願いします。

教育総務課長

報告事項1点目「大分市教育ビジョン推進事業2017『大分市の教育を考えるシンポジウム～つなぎ・つながる教育を目指して～』の開催について」ご報告申し上げます。

平成29年7月28日に、「大分市教育ビジョン2017」の推進を目的として、「大分市の教育を考えるシンポジウム」を開催し、430名の方々にご参加をいただきました。

第1部では「縦の接続～それぞれの夢や希望～」をテーマとし、中学1年生、高校1年生、大学生、エスペランサ・コレジオ学生、おお

いたナイトスクール受講生の皆さんから、これまでの自分や次世代へのメッセージ等についての発表を行っていただきました。

続く第2部では、「子どもたちの学びを支える『横の連携』の在り方について」をテーマとし、学校・家庭・地域・企業代表の方々によるパネルディスカッションを行いました。

成果といたしましては、開会行事の小中高生によるこども小潮太鼓の力強い演奏から、第1部の発表、第2部のパネルディスカッションまでを通じて、「縦の接続」と「横の連携」の視点による「つなぎ・つながる教育」の展開の重要性を参加者と共有することができたと考えております。

なお、アンケート結果でございますが、第1部では「各世代の学びや大分市の取組等がわかり、素晴らしいと思った。特に卒業レポートの取組については、内容が深く、熱意のあるもので聞き入ってしまった。しっかりした考えの子どもたちが、育っていることを実感した。」等の意見、第2部では「それぞれの立場から、子どもの教育のために連携していくための提案があり、力強く感じた。自分たちもその社会の一員として、様々な立場から関わっていきたいと思う。」等の意見、全体を通しては「縦の接続として各世代からの発表、横の連携として、子どもの学びを支えるそれぞれの立場からのパネルディスカッションと、内容の濃いシンポジウムになった。縦と横の視点からという構成が、とてもわかりやすかった。」等の意見が寄せられたところでございます。

今後とも、社会全体で本市の教育を推進する意識の醸成を図る中で、教育ビジョンの基本理念である「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ」の実現に向け、様々な施策に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

教育長
委員

ご質問などございませんか。

子どもたちの発表が、トップバッターの生徒をはじめとし、とても素晴らしかったです。準備に携わった先生もいたのではないかと思います。

こういった教育シンポジウムは、教育関係者だけでなく、様々な方々に広がっていけばいいと思いました。

委員

中学生の発表には感心させられました。大分市の将来に希望があるように感じました。

教育長

その他、質問はございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

次長兼 報告事項2点目「大分市立竹中中学校における小規模特認校の試行的
学校教育課長 実施の延長について」ご説明申し上げます。

本市の小規模特認校につきましては、小学校では、平成10年度に神崎小学校と上戸次小学校に導入し、中学校では、竹中中学校において平成27年度から3年間試行的に実施しているところであり、今年度が試行期間の最後の年度となっております。

竹中中学校の生徒数の推移につきましては、小規模特認校試行前の平成26年度が20名であったものが、27年度18名、28年度17名と推移し、今年度は25名となっております。

このうち、小規模特認校制度を利用している生徒は、平成27年度は1名、28年度は2名であったところ、今年度は11名へと大幅に増加したところであり、竹中中学校の小規模特認校制度について周知が進んだものと考えております。

このように、今年度は、全校生徒25名のうち4割の生徒が小規模特認校制度を利用している状況であること、また、今年度小規模特認校を利用している11名のうち6名は1年生であることを踏まえ、これらの生徒が卒業するまでの状況を見守る中で、竹中中学校における小規模特認校制度の成果や課題を整理する必要があると考えますことから、平成30年度から3年間、小規模特認校の試行期間を延長しようとするものでございます。

以上でございます。

教育長 今年度、急激に生徒数が増加している背景には、周知が進んだことはさることながら、竹中中学校の取組が理解されているということもあります。

教育長 ご質問などございませんか。

委員 今、教育実習は行われているのでしょうか。

次長兼 小学校で教育実習の受け入れを行っております。

学校教育課長

教育長 他に質問はございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

学校施設課長 報告事項3点目「新電力の導入について」ご説明申し上げます。

本件は、学校施設の電気料金の削減を目的に、12月1日より小学校44校の電力調達先を九州電力から、新電力会社へ切り替えるものでございます。7月に実施いたしました電力調達に関する一般競争入札の結果、平成29年3月より導入中の中学校21校と同じ、新電力会社の「ワタミファーム アンド エナジー株式会社」が落札いたしました。

電気料金につきましては、年間1億3,500万円ほどを見込んでおりましたが、入札の結果、およそ4,370万円、率にして32%の削減効果が得られる見込みでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

文化財課長

報告事項4点目「『第1回FUNAIジュニア検定』の結果について」ご説明申し上げます。

検定は、7月29日、大分市教育センター及び植田市民行政センターにおいて行いました。受検者数は小学2年生から中学3年生までの143名で、市外からの受検もありました。結果は、グラフにありますとおり、最高点98点、平均点74.2点、90点以上の合格者は20名でございました。

合格者には合格証書と記念品を授与し、特に成績が優秀であった人には「教育長賞」と「優秀賞」を授与いたしました。また、80点以上の人に努力賞を、成績が優秀もしくは受検者の多かった小中学校には「特別賞」を授与いたしました。なお、合格者の表彰式につきましては、8月22日に市役所において実施いたしております。

検定では、想定を上回る143名という多くの児童生徒に受検していただきました。また、事前の勉強に頑張った人が多く、問題の難易度を高めに設定していたにもかかわらず、多くの合格者が出たことは大変喜ばしいことでもあります。受検者へのアンケートでも、大分の歴史や文化に興味を持ったり、大分のことをもっと知りたいと思った人が多く、「郷土に対する理解と愛着を深めてもらう」という検定の目的を十分に達成できたのではないかと考えております。

今後は、合格者のうち希望者を「FUNAIジュニアガイド」の1期生として育て、来年度の国民文化祭などで活躍してもらう予定です。

なお、委員の皆様には、検定の問題と、受検者に贈った記念品の「大友宗麟公のバッジ」をお配りしております。ぜひバッジをつけて

いただいて、大友氏のPRをしていただけたらと思います。

以上でございます。

教育長 ご質問などございませんか。

委員 第2回目は、いつ頃行いますか。

文化財課長 大変好評でしたので、来年も同じ時期に開催したいと考えております。
来年度は、副読本以外からの出題も検討しております。

委員 受検者は、事前に申し込めば、副読本を送ってもらえるのでしょうか。

文化財課長 今回、市内の小学6年生と中学1年生に配付をしました。市外の受検者やその他の希望者に対しては、有料で発送いたしました。

委員 検定の問題は公開されていますか。

文化財課長 まだ公開されておられません。

教育長 受検者は、問題を持ち帰っていますか。

文化財課長 自己採点ができるよう、当日持ち帰っていただいております。

教育長 その他ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

文化財課長 報告事項5点目「大分市海部古墳資料館の指定管理予定者の選定について」ご報告申し上げます。

平成18年度から指定管理者制度を導入いたしております大分市海部古墳資料館でございますが、平成27年度から平成29年度の3年間、坂ノ市地区社会教育関係団体連絡協議会を指定管理者として運営してまいりましたが、平成30年3月をもって契約期間が満了になりますことから、平成30年4月からの指定管理予定者を選定するため、本年度、選定等委員会を開催いたします。

選定等委員会は、10月6日に予定しております。

なお、選定等委員会委員名簿案並びに今後のスケジュール案につきましては、お手元の資料のとおりでございます。

以上でございます。

教育長 ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

次長兼 報告事項6点目「旧荷揚町小学校校舎&黒板アート見学会について」
学校施設課長 ご報告申し上げます。

この見学会は、旧荷揚町小学校の解体に先立ち、先般8月13日日曜日
から8月15日火曜日までの三日間で開催をいたしました。1,03

7名の方々にご来場いただき、来場者の方からは、「親子三代で来ました。」「懐かしかった。」「いい思い出を作っていただきありがとうございます。」「黒板アートの実物を初めて見ました。素晴らしかったです。」「等の声が寄せられたところでございます。

以上でございます。

教育長
全委員

ご質問などございませんか。

(なしとの声)

教育長
次長兼

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

学校施設課長

報告事項7点目「大在東部地区への学校施設の早期建設を求める要望書について」ご報告申し上げます。

昨日、大在地区区長会及び隣接します小佐井小学校区の王ノ瀬区長より、大在地区東部横塚に大分市教育委員会が所有しております土地に新たな学校施設の建設を求める要望書が市長と教育長に提出されました。内容は、お手元にお配りしております要望書をご覧ください。なお、要望書には12, 128名分の地元の方々の署名が添えられて提出されたということでございます。

以上でございます。

教育長

昨日、市長とこの要望書を受け取りました。大在東部地区に学校施設、特に小学校を建設してほしいという要望でした。大在小学校、大在西小学校共に、児童数が1, 000人を超えることが見込まれているからということございまして。署名を集める過程で、中学校も併せて、施設一体型の小中一貫校を希望するという声もあがっているということございまして。

市長と事前協議のうえ、今後の児童生徒数、校区の再編を含めて検討していくと、市長が口頭で回答をしております。

教育長
全委員

ご質問などございませんか。

(なしとの声)

教育長
次長兼

それでは、次の報告事項の説明をお願いします。

学校教育課長

報告事項8点目「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について」ご報告申し上げます。

今年度の全国学力・学習状況調査の結果でございますが、小学校につきましては、全教科において全国平均を上回っております。中学校につきましては、発表値では国語Aは全国平均を上回りましたが、国語B、数学A、数学Bは下回りました。都道府県及び市町村においては、小数点以下を四捨五入することとなったため、国語Bは発表値では下回って

いるように見えますが、実際は全国平均と同等でございます。

課題といたしましては、数学AとBが全国平均を下回っている状況でございます。この点につきましては、一昨年度、市長からご指摘をいただいております。退職された教員を教科指導員として市内各中学校に派遣し、実際の授業場面を通して教科指導にかかる指導助言を行う、教科指導マイスター制度により、授業力の向上を図っているところでございます。

今年度の中学2年生は、中学1年の時に数学のA問題にあたる「基礎」が51.7、B問題にあたる「活用」が50.3でした。今年度は「基礎」は50.3で、昨年より数値が下がっておりますが、「活用」は50.7で、昨年より数値がやや上がっております。中学2年生につきましては、一年間指導した結果、学力が向上してきていると言えます。一方、今年度の中学3年生は、中学2年の時に、数学の「基礎」が50.0で全国平均と同等、「活用」が50.1でしたが、今年度は「基礎」「活用」とも全国平均を超えることはできませんでした。

教科指導マイスター制度を活用する中で、生徒からは「授業が分かりやすくなった」という声も聞かれており、今後とも教科指導マイスター制度を活用しながら引き続き取り組みを進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

教育長
委員

ご質問などございませんか。

少人数で授業を行う時は、出席番号順などで分けられているのでしょうか。

次長兼
学校教育課長

少人数で授業を行う際の分け方は、習熟度別が増えてきています。教員が分けることをせずに、子どもに選ばせています。子どもたちは、自分の力を見ながらクラスを選んでいきます。作業的な活動が多い場合など、単元によっては、習熟度別ではなく、均等に編成することもあります。

委員

班で分かれて学習を行う時に、わかっている子がいるとその子から教えてもらうことができます。子どもの方がわからないポイントがわかるため、わかるように上手に教えられるということもあります。ですから、わかっている子とわからない子が混じっている方がいいと思います。授業参観などでは、わかっている子が手持無沙汰になっていることもありますので、わかっている子も積極的に関わることができるような人数構成や分け方が工夫されるとよいと思います。

教育長

習熟度別と言っても、それが年間固定されることはありません。単元によって習熟度の差がつきやすい場合については、習熟度による編成を

することもありますし、一斉授業を行うこともあります。ご指摘のように互いに教え合う活動は、大切な活動であると思います。

委員 県は県で分析を行い、それを受けて、市も分析を行うのでしょうか。
次長兼 大分市の分析は、大分市で行います。各教科ごとにどのような指導が必要か、手引きを作成し、学校に具体的に指導を行っております。
学校教育課長
教育長 各学校においても分析を行い、その対応を考え、公表するようにしております。大分市の傾向として、国語での記述問題に対する無回答が多く、書く力に課題があることから、卒業レポートプロジェクトに取り組んでおります。

教育長 他にご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 予定されていた報告事項は以上ですが、他に何かございませんか。

美術振興課長 (お知らせ) 特別展「奇才・ダリ展」について

教育長 ご質問などございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 他に何かございませんか。

教育総務課長 次回の教育委員会及び10月の教育委員会の日程等につきまして調整をお願いいたします。

9月は、9月27日水曜日午後2時から校長との教育懇談会を、引き続き午後3時45分から定例教育委員会を開催いたしますのでよろしくをお願いいたします。

10月は、10月25日水曜日午後3時から定例教育委員会を開催したいと存じますが、よろしいでしょうか。

なお、本日の会議終了後は、連絡事項等がございますので、お時間をいただきたくお願い申し上げます。

以上でございます。

全委員 (了承)

教育長 他に何かありませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午後4時55分 閉会)